



1 / 7日(土)~9日(月)・14日(土)・15日(日)・21日(土)・22日(日)・28日(土)・29日(日)

日没から午後9時30分まで(晴天時のみ)

星空通信

2023年1月号



- 4日 12時頃、しぶんぎ座流星群が極大
- 5日 地球が近日点通過
- 6日 小寒
- 7日 満月
- 15日 下弦
- 20日 大寒
- 22日 新月
- 29日 上弦



☆用語解説☆

留りゅう…惑星が順行から逆行へ、が逆行から順行へ変わる時に、一時停止して見えること。

今月の惑星情報

水星

月初は日の入り後の南西の低空に位置。7日に内合、以後は日の出前の南東の低空に位置するようになります。1月21日から30日までの明るさは、0.2等から0等。

金星

日の入り後の南西の低空に見えます。明るさは-3.9等。

火星

月初めはおうし座を西に移動していますが13日には留となり以降は東向きの動きに転じます。宵の頃天頂近くに見え、明るさは-1.3等から-0.3等と光度を下げていきます。

木星

うお座を東に移動しています。宵の南西の空に見え、宵の南西の空に見え、明るさは-2.3等から-2.2等。

土星

やぎ座を東に移動しています。下旬になると見かけの位置が太陽に近くなり観察しにくくなります。明るさは0.9

一度にドーム内へ入れる人数を5名までとさせていただきます。

感染対策チェック表の記入と手指の消毒にご協力をお願いいたします。



山羊座



ギリシア神話のやぎ座は、上半身がヤギで下半身が魚。神話による由来は、神々がナイル川沿いで宴会をひらいていたところ突然、怪物テュポンが現れ、驚いた神々は動物に姿を変えて逃げた。ヤギ頭の牧神パンはナイル川に飛び込んだところ下半身だけが魚になり、その姿が大神ゼウスによって星座とされた。この神話からヨーロッパでは角のある海ヤギという想像上の動物とされることが多い。